

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui (advanced companies' try)

【特集】 良い現場には良い流れがある



Vol. 41

良い現場には良い流れがある

業種を問わず人材難・人手不足の状況が深刻である昨今、顧客にとっての付加価値を限られた人員で高めていくには、現場改善による労働生産性の向上が不可欠です。そのような中、当センター事業「福井ものづくり改善インストラクタースクール（以下、スクール事業）」「同インストラクター派遣事業（以下、派遣事業）」により、これまでの4年間で多くの県内企業が現場改善を図り、成果を上げています。スクール事業・派遣事業の統括責任者である窪田正明氏にスクール事業の産みの親である東京大学大学院の藤本隆宏教授が唱えられている理論『良い流れが良い現場をつくる』を福井県内の企業がどのように活用されているかを伺いました。



窪田 正明 氏
 福井ものづくり改善インストラクター
 スクール事業、派遣事業
 統括責任者

2015年7月から福井ものづくり改善インストラクタースクールの立上げ業務に従事、東京大学ものづくりインストラクター養成スクール第11期修了生。

モノや管理情報の流れが良い現場を持つ企業が福井県の更なる発展を後押しする

良い「現場」とは、顧客に向かう付加価値の流れが良く、その流れを制御する組織を有する現場のことを指します。ここでの良い「流れ」とは、正確で、よどみがなく、効率的で、柔軟な流れのことを指します。言い換えれば①品質、②リードタイム、③生産性、④フレキシビリティが良い流れを判定する基準となります。これらを実現する為には、多能工のチームワークによって、顧客へと向かう良い設計の良い流れを繰り返しもたらず組織を作り、強い調整力の特徴とする組織を作ることが必要です。労働力不足の中で中小企業がさらに成長するには、企業内で多能工を増やし、企業間でサプライチェーンを発達させ、企業内外でチームワークが発達することが必須となります。当センターではスクール事業や派遣事業を通して福井県内の中小企業に「良い流れ作り」の支援をしています。

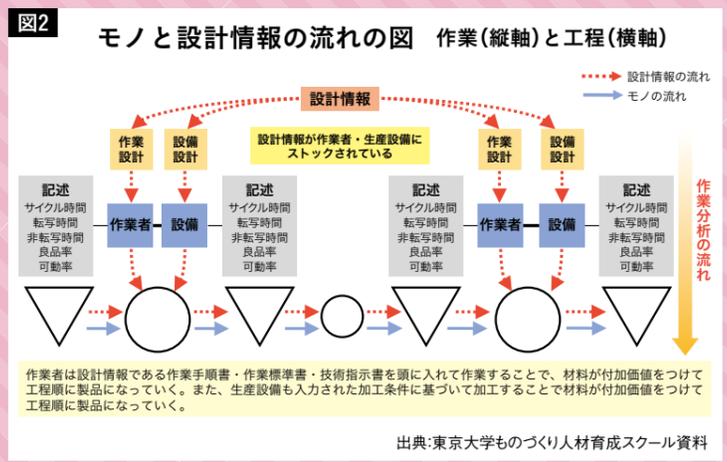
良い流れをつくるものづくり技術とは

窪田教授が唱える「ものづくり」とは、良い設計情報（付加価値）を良い流れによって主材料に転写し顧客に届けることを指します（図1参照）。更には強い固有技術が良い流れでつなぎ合わせるのが「ものづくり技術」です。



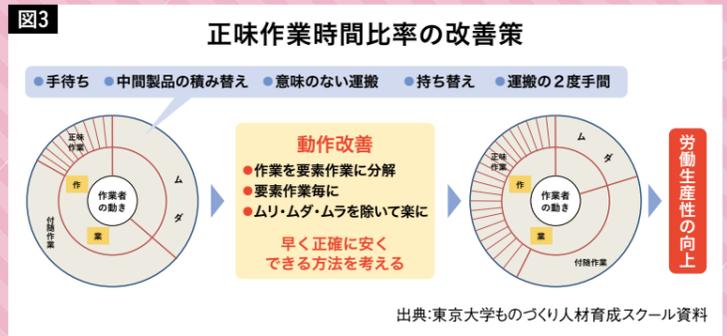
（真のものづくりを行っている）時間を「正味作業時間」といいます。福井県の中小企業では、1日に占めるその時

間の割合が非常に少ないのが実態です。生産工程では作業や生産設備に設計情報がストックされています（図2参照）。しかしながら作業設計や設備設計・加工条件が不十分で転写の効率が極めて悪い事例が多いのも事実です。転写の効率を改善するには（図3）の取り組みが必要であると考えます。つまり、「良い流れ」を作る取り組み



が必要だということです。また、その改善を指導するのがものづくりインストラクターの仕事です。

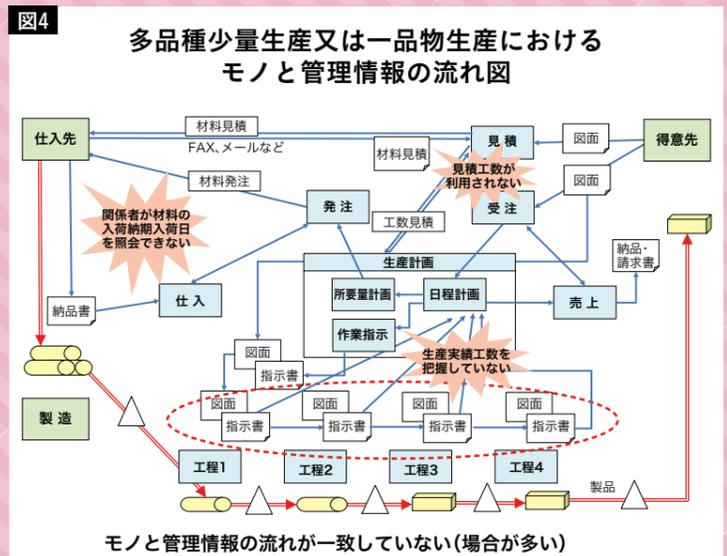
管理情報のよい流れとは
 受注や発注等の管理情報の流れが阻害されているために、全社の業務効率が悪い企業が多い実態もあります（図4参照）。ものづくりインストラクターが企業ごとに現状



分析し、流れ改善の考え方を示し、具体的な改善提案をしています。

流れを作る「ものづくり技術」は特定の産業や現場を超えて地域全体で共有できる汎用的な管理知識の体系です。福井県の企業の現場を見れば優れたものづくり技術が十分に共有された状態になっていないことも多くあります。従って、福井県は良い「流れ」作りを指導できる改善の

専門家が必要ではないかと考えます。当スクール事業はインストラクターを養成するカリキュラムとなっており、過去4年間で、スクール事業においては知識をオープン化し、他の企業、他の業種でも現場管理・現場改善の指導ができる人材を数多く育成しています。これまでに現役修了生27社・39名、OB修了生12名を輩出しました。現役修了生は自社で現場改善を主



- 多品種少量生産又は一品物生産における管理情報の課題
1. 見積もり時の作業工数が保存されていない
 2. 実績工数が把握されていない
 3. 従って見積もり工数と実績工数の差の検証がなされていない
 4. 生産工程において品番毎の進捗情報が入力されていない
 5. 従って品番毎の進捗がリアルタイムに照会できない
 6. 設計図面が電子データで保存されておらず、加工履歴も保存されていないので類似品が流れる場合の参考にできない
 7. 材料の発注、受け入れがハンドで処理されている為、材料の予定納期、入荷日を関係者が照会できない
- 管理情報がシステムの全て繋がって良い流れになると
1. 一品物生産に於ける見積もり原価精度が上がる
 2. 品番毎の進捗状況がリアルタイムに照会できることにより、納期遵守率の向上を図ることが出来る
 3. 見積もり工数と実績工数を把握できることで一品物の原価管理精度が向上する
 4. 材料の納期がリアルタイムに照会できることにより、生産小日程計画を柔軟に変更することが可能となる
 5. 関係者全員の労働生産性が向上する
- 参考文献 藤本隆宏 柴田孝(2013) 『ものづくり成長戦略』光文社新書

Contents

- 1 良い現場には良い流れがある
- 3 【受講生事例①】ジャパンポリマーク(株)
- 5 【受講生事例②】(株)日本エー・エム・シー
- 6 【派遣事例①】(株)北川
- 7 【派遣事例②】(株)山内スプリング製作所
- 8 【派遣事例③】(株)山甚擦糸
- 9 インストラクターの紹介
- 10 令和2年度 福井ものづくり改善インストラクタースクール派遣事業のご案内
- 11 今月の注目企業
- 13 Start a New Project
 - 株式会社ぼんた
 - 株式会社 PANTES365 Japan
- 14 こんにちは。FOIPです。
- 15 グッドデザインシンキング
- 16 総合相談
- 17 「IT」教えて先生!
- 18 新スポット巡礼
- 20 インフォメーション他



取り扱っているサッカー日本代表のユニホーム

チーム福井でつながるものづくりの良い流れ

ものづくりインストラクターの改善は、モノと設計情報の良い流れを生むためのIT化にも及んでいます。同社は、2000（平成12）年に受注から生産販売まで管理する独自

ンルーム内へ埃のつきやすいボジフィルムの出力機を配置することによる品質向上の提案をはじめ、2018（平成30）年には小集団で進める改善としてTPM活動を発足。チームを指導・補佐しながら良い流れを生む改善実績を重ね、生産活動に貢献しています。

手応えを語ります。異業種とのコミュニケーションも、スクールの大きな収穫でした。「実習ではいろいろな会社の現場に入り、特有の課題にどう対応するかという受講生の取り組みの仕方や切り口に気づきがありました。スクールで出会った人とは、今もOB会活動で交流が続いています」

改善活動を見守る松田常務は、「改善とは知恵であり、知恵を出すには知識が必要。スクールで知識を習得し、それを現場に適応する能力までレベルアップできるのがいいですね。」と微笑みま



作業の様子

のシステムを開発・導入。改良を繰り返して、全社IT化への展開に取り組んできました。2018（平成30）年には顧客管理システムを導入し、営業スタッフの情報共有にも着手。今後は、システムのWeb化とクラウド化をはじめ、生産情報のIoT化なども計画中です。

「理想は、ひとりの社員が注文を取って、仕様書をつくり、印刷、検査して出荷すること。ひとりでも複数の業務ができれば伝達ミスやエラーがない。実際は難しいですが、生産設備の良い流れをつくり、そこに近づけていけたら」と松田常務は展望します。

「今後も福井で日本一の熱転写ラベルの生産を目指すには、営業、製造、開発がそれぞれの課題を解決し、スキルを上げないといけない。お客さまから要求される品質・納期・価格に対し、スクールを

受講生事例 | スクールで得た知識と知恵で、良い流れを生む改善を継続する

ジャパンポリマーク株式会社

熱転写ラベルを手がける、ジャパンポリマーク株式会社。独自のものづくりを推進するなかで、これまで3人の社員を『福井ものづくり改善インストラクタースクール』に送り出しました。修了後、ものづくりインストラクターとして自社の改善に取り組んだ鈴木尚之氏と、代表取締役社長 久保浩章氏、常務取締役 松田秀三氏に、良い流れを生み出す改善活動について伺いました。



代表取締役社長 久保浩章氏
常務取締役 松田秀三氏
生産技術部 鈴木尚之氏



ジャパンポリマーク株式会社
<https://www.polymark.co.jp/>

所在地: 福井市清水杉谷町45号300番地
代表者: 久保浩章氏
事業内容: 熱転写ラベルの製造・販売/
熱転写機器の製造・販売
TEL 0776-98-2233

人材確保が困難な時代 社員のレベルアップを

熱転写ラベル市場で、国内トップレベルを誇る同社。独自のものづくりによる優れた品質が評価され、サッカー日本代表チームのユニフォームマークをはじめ、多彩なシーンで採用されています。同社が4年前にスクールへの参加を決めたきっかけを、松田常務はこう語ります。「どこにも負けない固有技術を扱うだけに、生産設備の改善や工法開発なども社員がやらないといけない。そんなとき、ものづくりの原理原則や生産効率を高める現場改善の知識・手法と設計情報の流れ方などを教えていただけたスクールができることを知りました。これだけ体系だったカリキュラムを社会人が勉強できる場は他になく、参加しないのは損だと思ったんです」と熱く語ります。



(上)一人でも複数の作業が出来るようにレイアウトを変更
(下)室外から持ち込んでいたボジフィルムを室内で出力

「私は、ものづくりの真ん中は人だと考えています。人の能力や考え方が高まれば、ものづくりは変わる。福井で進む少子高齢化や若者の人口流出で、今後、必要な人材を確保できるか疑問を感じたなら、まず今いるスタッフのレベルアップを先にやらなければいけない」。

現在、同社ではスクールを修了した3人の社員が、ものづくりインストラクターとして社内での改善活動を推し進めています。製造部に所属する鈴木氏は、同社で2人目の受講生。スクールの現場改善実習で提案された「製版工程における生産性向上」を検証し、複数作業者の歩行数を減らすU字ラインのレイアウト変更をはじめとする取り組みで、作業時間を約20%改善。残業時間低減に結びつけました。他にも、製版室のクリー

数字や結果に結びつく改善活動を指導・補佐

派遣事例1

管理情報のIT化 改善根拠を明確にして導入

株式会社北川

現場で起こっている問題に対し、最適な解決策は簡単には見出せないものです。そこで、当センターの派遣事業を利用した「株式会社北川」代表取締役社長の北川聡さんに、自社現場の現状と専門家を活用してみた結果についてお話を伺いました。



代表取締役社長 北川聡氏



株式会社北川
http://kitagawa-grp.co.jp/

所在地:福井市問屋町2-65
代表者:北川 聡氏
事業内容:建築用資材の加工・販売・
金属工事
TEL 0776-22-2694



加工後の資材(一部)

2019年度に当センターの派遣事業を利用した同社は、紙による管理情報の流れが主流で、得意先から急な変更があった場合など情報伝達

情報の流れが遅く、ムダが多かった

**金属資材の
トータルプロデューサー**
建築用金属資材の加工・販売を手掛ける同社は1947(昭和22)年に創業し、福井県内No.1のシェアを誇る同社の製品は、福井県立恐竜博物館や福井駅などの大型建築物から一般の個人住宅まで、様々な建築物に使用されています。今後、更なる事業拡大・生産性向上を見据え、敦賀営業所を新築移転し、5月にオープン予定です。

が遅く、せっかく加工したものが配送できないといったムダ作業、ムダ加工などが発生していました。一方配送部門では、製品の加工進捗状況が分からないため、配送の優先順位がつけられず、配送待ちの時間が多々生まれていました。これだけではありません、成形工場においても機械の加工条件を手入力していたため複雑な加工条件を入力するときにミスが発生することもありました。

同社を担当した松田インストラクター(詳しくは本誌P9にて)とともに打ち出した改善策は、管理情報を電子データ化し、関係者がリアルタイムに照会できるシステムを導入することでした。

具体的には、成型工場と材料倉庫に対して発行する加工伝票・納品伝票・発注伝票にバーコードを付与することで、品番毎の生産進捗が生産前、生産中、生産完了の区分で照会出来るように、一方配送部門ではモニターで加工進捗が照会できるようにすることで、さらに成型工場ではタブレットを導入し、加工条件をタブレット上で選択することで機械には自動で入力されるミスの発生防止と生産性向上が図れると伺います。



裁断の様子。サイズの入力は手入力だった

システムの考案は2019(令和元)年10月頃に始め、今年5月に導入予定と、驚くべき対応の早さでした。今回の改善提案を受けて、「今回の提案は当社にとって本当に良かったです。システムの入れ替えを検討していたタイミングと重なり、システム導入による定量的効果が秒単位で明確になっていたので投資しやすかったです。導入にあたって従業員への説明する時にも理解が得られやすかったです。今回の提案は作業ミスの低減、作業の簡素化なども含まれており作業効率の改善も効果が大きいと思います」と北川社長は派遣事業を利用した手ごたえを語ります。

受講生事例2

得た経験を活かし、応用する

株式会社日本エー・エム・シー

実際にモノを作る作業が止まっているということは、現場が「良い流れ」になっていない証拠です。当センターのスクール事業を利用した「株式会社日本エー・エム・シー」常務取締役の北川浩文さんと修了生の今度隆宏さんに、製造現場の現状とその改善の仕方についてお話を伺いました。



常務取締役 北川浩文氏 製造部 製造1課課長 今度隆宏氏



永平寺工場

株式会社日本エー・エム・シー
https://www.j-amc.co.jp/

所在地:(本社工場)福井市市波町13-8
(永平寺工場)吉田郡永平寺町法寺岡2-5
代表者:山口康生氏
事業内容:高圧配管用継ぎ手の製造・販売
TEL 0776-96-4409(本社工場)、0776-96-4253(永平寺工場)



製造しているゴムホース用の継手。手の市場では日本一のシェアを誇っています。

実は1日の半分も機械が止まっていることも
製造業において製造機械の非稼働時間を削減することは、生産コストを下げる方法として効果的で、一丁目一番地の課題でもあります。同社においてもそれは同じです。「まだ本格的に改善活動をし

**福井県を代表する
継手メーカー**
同社は1963(昭和38)年に東京で創業し、福井には1970(昭和45)年頃に移りました。創業以来半世紀以上に渡り、高圧配管用の金属製継手の専門メーカーとして建設機械、農業用機械、工作機械などの製造メーカーに製品を提供してきました。現在は、国内では福井市および永平寺町、海外ではタイ、フィリピン、中国に計5つの拠点を構え、建設機械 向け高圧配管用継手の市場では日本一のシェアを誇っています。

てなかった当時、工場の機械が1日の半分しか稼働していなかったんです。作業員がモノを取りに行ったり段取り作業をしたりと、とにかく黄色ランプ(機械が一時停止している合図)がたくさんついていました(笑い)と北川常務は振り返ります。

当センターのスクール事業では第1期から利用し、今度さんは第三期スクールを受講しました。「現場改善実習もあったので改善力が付いたと実感しています。今までも社員たちに現場改善指導を行ってききましたが、更に自信がつかまりました」と今度さんは笑顔で話します。

自社還元とその後
2016(平成28)年、機械の停止時間を削減して稼働時間を増やし、1人1時間当たりの出来高を15個/時間・人(当時)から2019年度には18個/時間・人に増やすことを目標に掲げ、スクール事業で培った知識と経験も活かして現場改善に本格的に取り組み始めました。

日報と現場録画による現状把握により機械が停止している原因を追及。段取り作業中と稼働作業中に起こる「モノを取りに行く」を探す「ムダ削減」や「作業自体のムダの見直し」などの現場改善案を出し、24もの製造ラインに導入することで、2019年の上期に目標の18個/時間・人を達成できました。「更なる改善をと思い、OTRS分析ソフト(作業時間を分析する為のソフトウェア)を用いて時間分析をした結果、作業員の「手待ち時間」がなんと1日の3割以上を占めていることが改めて分かりました。まだまだ改善の余地はあることが明らかになったので次は出来高20個/時間・人を目指します」と北川常務。「作業員の配置を変えてみたり機械の持ち台数を変えてみたりして今まさに試行錯誤しています。スクール事業の経験を自分たちで応用し、更なる改善をしたいです」と今度さんは新たな目標に向けて積極的な姿勢を見せます。



製造ラインの様子(一部)

派遣事例3

自分で出来ること。 専門家の力で出来ること。

山甚燃糸株式会社

中小企業にとって、現場の流れを良くするためにやるべきことが分かっていても専門家がない限りなかなか実践できないものです。そこで、当センターの派遣事業を利用した「山甚燃糸株式会社」代表取締役の山田雅浩^{やまだまさひろ}さんに、これまでの自社現場の現状と専門家派遣を利用して見た結果についてお話を伺いました。



代表取締役 山田雅浩氏



山甚燃糸株式会社

<http://www.yamajin-tw.jp/index.php>

所在地:福井市薬師町23-22
代表者:山田雅浩氏
事業内容:燃糸や糸の加工・販売、生地素材の開発
TEL 0776-90-3006

実践は難しい
同社は2019年度に紹介で当センターの派遣事業を利用しました。「当社は糸をエ



加工次第で形を変える糸

糸加工なら当社に
同社は車両フアブリック等の産業用資材からスポーツ・ユニフォーム・インナー・婦人紳士アパレル用途までの幅広いニーズや機能性に合った糸を加工しています。1962(昭和37)年創業以来、50年以上にわたり糸加工を追究して独自のノウハウと技術を蓄積してきました。今では生産拠点を4つに拡大、社員はベトナムやミャンマーからも雇うなど、会社規模を拡大させています。



エア加工機の様子。同社の特徴の1つです

「設計情報」の流れ、「管理情報」の流れ、ともに良い流れが見えています。

ヒトを介した
「設計情報」の流れ、「管理情報」の流れ、ともに良い流れが見えています。

専門家とのマニュアル作成

同社を担当した大倉インストラクター(詳細はP9にて)

「エア加工する技術を有しており競争力はある」と思っていますので、後は工程管理能力を向上するための仕組みを作ることが必須だと以前から考えていました。特に外国人労働者を有効活用するためには彼らにも理解ができる動画マニュアルが効果的と考えました。作業の標準動作は文章化するとはおろか、動画にするのは尚更難しいです。残念ながら自分達だけでは動画マニュアルは作成できない。ここで専門的な指導をしてもらえたらと思つて利用しました」と山田社長は派遣事業の利用の経緯を語ります。

と二人三脚で動画マニュアルの一つの工程に導入し、作業指導方法の標準化や作業指導時間の短縮、現役作業者の多工程持ち化といった効果が得られているのに加え、現在はその次の工程のマニュアル作成に取り掛かっています。一方で、同社のIT化も進んでいます。ほぼ同時期に、福井県のITコーディネーターの指導のもと、工程進捗や資材入荷日、在庫の照会がリアルタイムでできるシステムを今年3月に導入し、稼働を始めています。規模拡大の際、管理体制を十分に整えられなかったため、各工場の管理が行き届かず工場間の連携はバラバラ。結果、生産計画の立案や進捗管理ができず、得意先への納期がだんだん遅くなり、クレームになった経験があったからです。

派遣事例2

固有技術だけでなく、 ものづくり技術も積み重ねる

株式会社山内スプリング製作所

一品モノなど小ロット加工を行うものづくり企業においても現場の「良い流れ」作りは大切です。当センターの派遣事業を利用した「株式会社山内スプリング製作所」代表取締役の山内基史^{やまうちもとむね}さんに、製造現場の現状と「良い流れ」をつくる為の進め方についてお話を伺いました。



代表取締役 山内基史氏



修生の増田満司氏

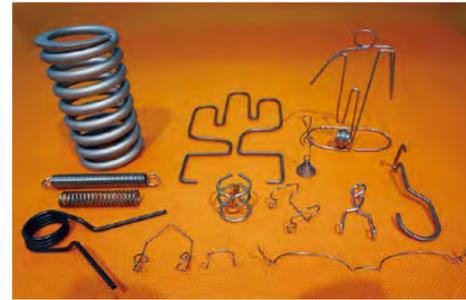


株式会社山内スプリング製作所

<http://yamauchi-spring.com/>

所在地:福井市成和2丁目406
代表者:山内基史氏
事業内容:線材加工、薄板金属加工、治工具製作等
TEL 0776-22-5099

派遣事業で現状把握
2018年度に当センターのスクール事業を利用したこ



精巧な技術で作られた多彩な製品たち

洗練された匠の技 最新の設備
同社は1947(昭和22)年に創業し、山内社長は3代目にあたります。薄板金属・線材の精密部品を作り続けて70年。注文は1個からでも受け、試作から量産まで多様な加工分野に対応する一貫体制を敷き且つ卓越した固有技術をノウハウでお客様に最適な提案が出来るのが同社の強みです。設備は常に最新鋭のものを導入。最新設備と匠の技の融合で顧客からの信頼も厚いです。

とがきっかけで現場改善に対する意識が高まり、続けて2019年度の派遣事業も利用しました。「スクール事業では現場改善実習もあり、増田さんが大きく成長したことを実感していたので派遣事業にも期待が持てた」と山内社長は振り返ります。
派遣事業の一環で行われた会社の現状把握では、工場内での受注案件ごとの進捗がベテラン社員に委ねられているため、納期管理担当者がリアルタイムに納期回答することが難しい。また進捗遅れ品への対応が遅れてしまう課題を抱えていることが改めて明らかになりました。
一方、作業現場も、ベテラン社員の知識・技能に依存しており、受注案件ごとのどの工程を流したかの加工履歴が見える化されていませんでした。現状は、加工条件の一部が社員の個人ノートに手書きで残っているが、過去の履歴を活用できず、結果として予期せぬリピートの受注時には、どの工程を流すがが不明で迅速に対応することが出来ないということが分かりました。

「まずは作業者に新しいシステムに慣れてもらう必要がありますが、システムが軌道に乗った後は適切な人員配置ができた後無駄のない生産計画が練れたりするので、会社の方向性を打ち出しやすくなると思います。」と山内社長は今後に期待を寄せます。
同社を担当した清水インストラクター(詳しくは本誌P9にて)はITベンダーとの間に入り、工程実績収集システムを提案。過去の加工履歴をデータで蓄積させ、加工指示書に打ち出すことでリピート品を流すときに作業工程・加工条件は誰が見ても分かるようになります。今年7/8月にはシステム導入を予定しており、「良い現場」になる道筋は見えてつづきます。
「まずは作業者に新しいシステムに慣れてもらう必要がありますが、システムが軌道に乗った後は適切な人員配置ができた後無駄のない生産計画が練れたりするので、会社の方向性を打ち出しやすくなると思います。」と山内社長は今後に期待を寄せます。



多品種に対応できる加工機

令和2年度「第5期 福井ものづくり改善インストラクタースクール」のご案内

県内中小企業の中核を担う現場の従業員の方や、多くの現場経験を有する企業OBの方を対象に、設計情報や管理情報の良い流れをつくり生産効率を高める、現場改善の指導者を養成する「福井ものづくり改善インストラクタースクール」を実施します。

スクールの特長

- カリキュラムは『東京大学ものづくり経営研究センター』と共同開発した講義・演習、現場実習により構成
- 藤本隆宏東京大学教授のものづくり理論、良い設計の良い流れをベースとしたテキストを使用
- 「東京大学ものづくり経営研究センター」の協力による経験豊富な講師陣
- 受講生の皆さんの現場改善適応力を高めることに重点を置いたカリキュラム
- 現場での実践に重点を置いた、成果創出までの継続的なフォローアップ体制



第5期のスクール概要(予定)

開講期間 ● 2020年7月～10月

会場 ●【講義・演習】 福井県中小企業産業大学校 【現場改善実習】 各協力企業

募集人数 ● 12名程度

受講料 ●【企業従業員】 25万円(税込) 【企業OB等】 5万円(税込)

※従業員を派遣する企業は、受講料の補助制度が利用できる場合があります。

応募要件 ●【企業従業員】 県内に主たる事業所を有する中小製造事業者のリーダーまたは幹部候補であって、生産管理、品質管理、生産技術等の部門を経験し、ものづくりに関する予備的知識を有すること。

【企業OB等】 大手・中堅製造業で工場等の現場経験豊富な方

※企業OB等については、修了後、県内企業の指導に従事していただきます。

※スクールの詳細は、決まり次第、ホームページ等でご案内します。

1日目	ものづくりの基礎概念 競争力と企業パフォーマンス
2日目	コストと生産性 納期・工程・在庫管理、品質管理
3日目	IE(工程分析・連合作業分析・動作分析・稼働分析・時間分析)
4日目	標準作業と標準時間
5日目	QC7つ道具と新QC7つ道具 問題発見の着眼点
6日目	VSM(モノと情報の流れ図)の 講義と演習
7日目	コミュニケーション・コーチング インストラクティングの基礎

8日目	5S講義と企業実態討議・IE分析演習 現場改善の進め方・個人発表の作り方
9日目	実習現場見学(3社) テーマ・目標設定
10日目	現場改善実習(1)
11日目	チームディスカッション
12日目	現場改善実習(2)
13日目	チームディスカッション
14日目	現場改善実習(3)
15日目	チームディスカッション
16日目	実習先での成果発表
17日目	チーム成果発表と個人発表

カリキュラム

令和2年度 現場改善を支援する「派遣事業」のご案内

ものづくり現場の改善を行いたい企業に対して、インストラクターを派遣し、インストラクターが中心となり経営者・現場の皆様の協力を得て改善提案を策定します。

派遣対象 ● 派遣により改善効果が期待できると判断できる福井県内に事業所を有する中小企業・小規模事業者

派遣者 ● 福井ものづくり改善インストラクタースクールで養成したインストラクターを原則2名1組で派遣します。

派遣回数 ● 5回以内

活動期間 ● 3か月以内

企業負担額 ● 1回2万円(税込)

2020年度予定件数 ● 6件(申請件数が予定件数に達した時点で受付を終了させていただきます。)

お申し込み・
お問い合わせ

(公財)ふくい産業支援センター 人材育成部(福井県中小企業産業大学校)
〒918-8135 福井市下六条町16-15 Tel 0776-41-3775 FAX 0776-41-3729
Mail monodukuri@fisc.jp URL https://www.fisc.jp/fiib/monodukuri.html



インストラクターの紹介

長田勝栄 ものづくりインストラクター

現場改善の得意なジャンル

ビデオによる作業分析・稼働分析を行い、5S・品質向上・生産性向上を目指します

現場改善の実績

繊維・紙・印刷・金属・眼鏡など12社

現場改善時のモットー

ものづくりは情報の転写
品質は自工程で作ら込む



金子敏己 ものづくりインストラクター

現場改善の得意なジャンル

商品設計・開発・品質管理・ものづくり基礎教育
5S活動をベースとした職場改善・品質管理強化

現場改善の実績

これまでに10数社担当
(5S・効率UP)

現場改善時のモットー

『気づき』は改善の原動力



高岡 勉 ものづくりインストラクター

保有する資格 中小企業診断士

現場改善の得意なジャンル

生産管理、生産技術、産官学連携

現場改善の実績

10社

現場改善時のモットー

商品の設計情報から生産技術まで
総合的診断



大倉 幸 ものづくりインストラクター

保有する資格 情報処理技術者1種、
マシンングセンタ2級、玉掛、車両系建設機

現場改善の得意なジャンル

ムダ取り・自動化・システム改善

現場改善の実績

6社

現場改善時のモットー

鳥の眼で見て全体最適を目指す



松田博史 ものづくりインストラクター

保有する資格 中小企業診断士

現場改善の得意なジャンル

経営分析に基づいた生産性の改善提案

現場改善の実績

食品、繊維、金属加工、塗装

現場改善時のモットー

生産現場に限らず会社全体として
利益を高めるお手伝いをします



中井利行 ものづくりインストラクター

大手メーカー国内・海外工場長経験者

現場改善の得意なジャンル

社員教育、損益改善、品質管理

現場改善の実績

製造監督者教育、製造課長/係長研修、
原価計算、5S、見える化etc.

現場改善時のモットー

人を育てる、現場主義



吉川英治 ものづくりインストラクター

現場改善の得意なジャンル

生産性向上、品質改善

現場改善の実績

電子部品、機械組立、化学材料
繊維・縫製、食品加工 等

現場改善時のモットー

製造現場での現物・現実の事実に基づき、
基本に忠実な改善活動



清水昭彦 ものづくりインストラクター

保有する資格

ITコーディネータ(経済産業省推進資格)

現場改善の得意なジャンル

生産日程計画、工程進捗、品質保証、IoT

現場改善の実績

鉄工、加工組立、化学品製造

現場改善時のモットー

原価、生産性向上を考え、
業務改善・省力化を推進します





株式会社ボストンクラブ

鯖江市三六町1-4-31-2
代表者：小松原 一身氏
事業内容：眼鏡デザインの企画・生産、
眼鏡枠の小売店への販売、
眼鏡枠の輸入・輸出、眼鏡小売店の運営
TEL：0778-52-9337
http://www.bostonclub.co.jp/



代表取締役社長 小松原一身氏

「IoT」「AI」視野に、 ウェアラブル対応眼鏡枠開発

株式会社ボストンクラブ

鯖江市を拠点に眼鏡枠の企画・販売を展開する「ボストンクラブ」。近年、同社が新たな取り組みとして開発を進めているのが、視線解析や脳波測定などウェアラブル機器の着脱機構を備えた眼鏡枠です。同機構を「neoplug（ネオプラグ）」と名付け他業種との連携を模索する同社。開発の道のりや今後の展望について、代表取締役の小松原一身氏、ウェアラブル事業部の山内新一氏に伺いました。

眼鏡枠作りの知見強みに 新コンセプトのモデル開発

同社が初めてウェアラブル機器と接点を持ったのは2012（平成24）年。アメリカの大手IT企業が手掛けるスマートグラスのサプライチェーンに加わったのがきっかけでした。小松原氏は当時を振り返り「認められる誤差は0.05ミリ以内。高い精度を求められる仕事で帰宅が午前様になることもありましたが、勉強になったプロジェクトでした」と話します。

経験を生かしたウェアラブル機器対応眼鏡枠の開発に着手。「眼鏡は、頭部の大きさや形、目や耳の位置、デザインなど構成要素が多岐にわたるアイテム。これまでに培ったノウハウを生かせるのではと考えました」と山内氏は話します。

2015（平成27）年、東京ビッグサイトで初めて行われた「ウェアラブルEXPO」に出展し、ウェアラブル業界における眼鏡産地の強みをアピール。翌年の同展ではネオプラグを搭載した初のモデル「np1001」を発表し、眼鏡本来の機能がウェアラブル機器の使用感を左右すること

を強調しました。

展示会出展をきっかけに 映画の小道具にも採用

同社の取り組みはさらに進みます。2016（平成28）年12月、クラウドファンディングサイト「FUNDRAVING」で、開発費や販促費などを使途とする寄付を募集。目標額を超える370万円が集まり、「こういう機構を探していた」「ドローンを操縦するときに活用できそう」「めがねのまちらしいプロジェクト」などの声が寄せられました。ウェアラブルEXPOに毎回欠かさず出展する一方で、

目指すは「標準規格化」 仕様公開し参加呼び掛け

現在、「neoplug」の仕様に対応したウェアラブル機器を開発・販売するのは十数社。山内氏は「実例をどれだけ広められるかが普及の鍵」とした上で、「ウェアラブル先進国であるアメリカや中国から面白い商品を見つけ、当社商品と組み合わせる実証実験的な取り組みを進めていきたい」と話します。

同社は「neoplug」標準規格化を目標に、着脱機構の仕様を公開して眼鏡枠メーカーの参加も呼び掛けます。「眼鏡型ウェアラブル機器の装着はあくまで一例。3Dプリンターなどでアタッチ

メントを作ればアクセサリやキャラクター商品などを付けることもできます。使い道を広く募集するコンテンツなども開催できればいいですね」と小松原氏。

115年前、現在の福井市生野町で始まった福井の眼鏡製造の歴史。小松原氏は「neoplug」を、「次世代の若い人たちが産地への夢を持てるようなきっかけになれば」と力を込め、「眼鏡産地内でのつながりだけでなく、県内のIT企業や音響機器メーカーなどの連携も進めていきたい。眼鏡の基本構造は100年前から変わりませんが、時代に合わせて横展開しさらに進化させていきたいですね」とプランを描きます。



同社が手掛ける「neoplug（ネオプラグ）」
こちらには映像が映るデバイスが装着されている



毎年10月に開催されるアジア最大級の規模を誇るIT技術と
エレクトロニクスの国際展示会「CEATEC」にも出展。



今年2月に出展した「福井ものづくり研究開発成果展」での
様子。補助金の成果を展示。



今年も出展した「第6回ウェアラブルEXPO」での様子。第7回は2021年1月20日～です

こんにちは!
FOIPです。

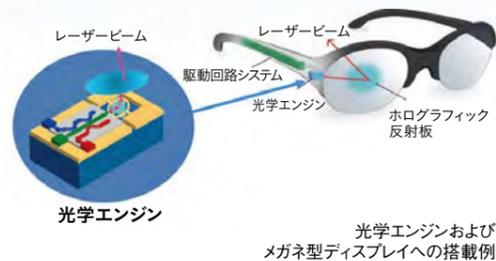
超小型光学デバイスによる 革新的オプト産業の創出 ～光産業の創出に向けたふくい光学エンジン研究会の取り組み～

(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 技術経営推進室

光学エンジンとは

光学エンジンとは、光源である赤・青・緑の半導体レーザ、異なる波長の光を高精度で1本の光にする合波器および光走査ミラーをワンチップに集積した光制御デバイスのことです。福井大学では独自の光制御技術をコアに、光学エンジンの超小型化かつ信頼性の向上に向けた研究開発に取り組んでいます。

この超小型の光学エンジンは、網膜に直接映像を投影する新しいスマートグラスや自動車のフロントガラスに運転者に必要な情報を表示するヘッドアップディスプレイをはじめとして、産業分野や医療分野などへの幅広い分野の用途展開が期待できることから、IoT・ウェアラブル社会の未来を拓き、革新的な光産業創出の可能性を秘めています。



ふくい光学エンジン研究会の取り組み

公益財団法人ふくい産業支援センターは、文部科学省が地域において連続的にイノベーションを創出するシステムの構築を目指して進める「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の実施機関として採択を受け、福井大学とともに「超小型光学デバイスによる革新的オプト産業の創出」に向けた取り組みを実施しています。これらの取り組みの一つとして、光学エンジンから派生する様々な製品開発を支援し、新たな産業の創出、および事業化展開を目指す「ふくい光学エンジン研究会」を平成29年12月に設立しました。

本研究会では、参画企業に対して、光産業・光技術の動向や最先端技術に関する講演会の実施および技術開発の支援などを行っています。なお、参画企業を随時募集しており、共に光学エンジンの活用の可能性を探り、新しい産業の創出に挑戦していきたいと考えていますので、ご興味のある方はいつでもご連絡ください。

(1)講演会の実施

研究会設立後、光産業の最先端技術に関連する大学や公設試および先端企業から専門家を招き、業界の動向や最新技術についての講演会を年2回程度実施しています。

(2)技術開発の支援

福井県内に本社または主たる事業所および研究所を有する企業を対象に、超小型光学エンジンの用途展開、事業化を進めるための前段階として、光学エンジンの活用の可能性に関する試験調査研究を実施する企業を毎年募集しています。



ふくい光学エンジン研究会の様子

創業者・若手経営者の挑戦

Start a New Project

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通じ、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

Instance 23 「社員ファースト」で人手不足から卒業 独自の人材活用ノウハウを活かし、更なる事業拡大を目指す

アパレルショップ店員から22歳で独立

齋藤さんは高校を卒業後上京し、大手芸能事務所に所属したものの、研修生としての生活が肌に合わず地元に戻り、評判のアパレル店に就職しました。ひと月で300万円を売り上げる人気店員として活躍しましたが、そのうち「30～40代になっても同じ洋服を売り続ける自分の姿が想像できない」と思いはじめ、2000(平成12)年9月、22歳の時に、アパレルショップをオープンし独立を果たします。

業界の慣習にとらわれず、少しずつ変革

2006(平成18)年には飲食業界に進出。当初は、長時間労働やサービス残業、休日返上といった飲食業界特有の働き方が常態化していましたが、齋藤さんは次第に、「アパレルと比べてこの働き方はおかしいのではないか」と疑問を抱くようになり、「飲食業界の慣習にとらわれず、できることから少しずつ変革していった」と当時をふり返ります。

「社員ファースト」で人手不足を卒業

創業20年目を迎える現在では、アパレル1店舗・飲食店12店舗を経営。アルバ



イトを含む従業員はグループ全体で190名にのぼります。長年積み上げてきたES向上の施策が実を結び、「人手不足から卒業しました」と話す齋藤さん。会社として『社員ファースト』を掲げ、「お客様の事より社員。地域貢献よりも社員。まずはスタッフが幸せになり、それをお客様に還元するという視点が大切。」と力を込めます。

「バックアップ再生横丁」で全国展開を目指す

齋藤さんは、さらなる事業拡大を目指し、今年3月に開催された第5回福井ベンチャーピッチに登壇。ぼんた独自の人材活用ノウハウを生かし、困っている地方の飲食店を救うビジネスモデル「バックアップ再生横丁」を発表しました。「地方の飲食店が幸せになれば、その地域に住むお客様も満足し、結果として場所が盛り上がる。このモデルを福井だけでなく全国に横展開させていきたい。」と抱負を語る齋藤さんの勢いは止まりません。



株式会社ぼんた
代表 齋藤 敏幸さん
bonta.co.jp
所在地: 福井市大宮1丁目11-27
TEL 0776-24-8733
E-mail pom0517@yahoo.co.jp

Instance 24 「あん食パン専門店」全国展開への夢 自慢のあん食パンを多くの人に食べていただきたい!

看板商品「あん食パン」で2006年に創業

今井さんは2006(平成18)年にうずまきのロゴマークでおなじみのベーカリーショップ「PANTES(パンテス)」をオープン。原料の仕入れから仕上がりまでを店舗内で行い、焼き立てパンを提供しています。特に「ふんわり&もっちり」食感にこだわったあん食パンは、同店の売り上げの1/2を占める人気商品です。

子どもの頃から憧れていた料理の世界へ

今井さんは高校を卒業後、配送トラックの運転手を経て、建築関係の会社で働いていましたが、「料理の世界に入りたい」という子どもの頃からの夢を叶えるべく、25歳で福井県内にある某ベーカリーショップに入社しました。

パン作りは未経験ながらも、入社時の社長面接の際には「僕は3年後に独立します!」といきなり宣言したそうで、「社長からは『寝言を言うな、10年早い』と言われました(笑)」とのこと。

入社後は、持ち前のバイタリティーを活かして、パン作りに



まい進。パン職人としての技術はもちろんのこと、店舗責任者として新店舗オープンやリニューアルオープンを任されるなど着実に経験を積んでいき、29歳の時に満を持して独立を果たしました。

焼き立てのあん食パンを食べていただきたい

「僕は世界中のパンを食べ歩いてきましたが、やっぱり、パンテスのあん食パンが世界一美味しいと思うんです」と笑顔で話す今井さん。そんなパンテスのあん食パンを全国に広めたいと考え、2020年3月に開催された第5回福井ベンチャーピッチに登壇し、あん食パン専門店PANTESの多店舗展開モデルを発表しました。

「焼き立てのあん食パンを全国の方に食べていただきたい」と意欲を燃やす今井さんの挑戦は、まだまだ続きます。



株式会社 PANTES365 Japan
代表 今井 薫さん
https://pantes.jp/
所在地: 福井市松本4丁目12-14
TEL 0776-28-0365
E-mail pantes365@gmail.com



2019年度グッドデザイン賞受賞

間伐材を利用した多目的什器 [FRAME] / 株式会社 CINQ

日本国内では戦後に植えられた多くの人工林が成熟し、現在収穫期を迎えています。これまで国産の間伐材は主に建築用途に使われてきましたが、木造建築の減少や海外産木材の輸入により、需要の低迷が続いています。森林環境を守り、森の本来あるべきサイクルを取り戻すためには、もっと多くの人たちに木を使っていただくことが必要です。建材でもエネルギー素材でもない。間伐材の新しい可能性に向き合い、導き出した最初の答えが、間伐材を利用した多目的什器「FRAME」です。

FRAMEは、使う人がいろんな用途でフレキシブルに使える設計。テーブル・シェルフ・ハンガーラック・屋台になります。また、組み立て式で、持ち運びが可能。小型車で容易に持ち運べるサイズ。杉を使用しているため軽く、必要最小限の部材で構成されているためすっきり見え、陳列する商品を引き立てます。材料の原木の伐り出しや、一次加工、仕上げなどは福井県嶺北の事業所のみで制作。地産地作を意識しました。他に越前箆職人、織りネーム工場、テント工場に制作を依頼。地域の仕事もわずかながら創出することができました。



【審査委員の評価】

担当審査委員 |

五十嵐久枝 安積伸 佐藤弘喜 長町志穂

増加するマルシェ型イベントの場面において、デザイン性や素材感のある什器が求められているというニーズに応える製品。デザイン性のみならず、可搬性や収納性、簡易な組み立て方式など、この製品に求められる条件に対して、積極的に解決を図り実現している点が評価された。この製品の登場によって、当該イベントの環境がさらに美しく楽しいものになるよう広く周知されることを期待したい。

【DATA】

- 受賞企業 (株) CINQ
- プロデューサー / ディレクター
TSUGI 新山直広+ろくろ舎 酒井義夫
- デザイナー
MUTE イトウケンジ、ウミノタカヒロ
- 発売日 2017年9月18日
- 仕様
寸法: W1500×D600×H185mm (収納時)
W1530×D1500×H2200mm (使用時)
重量: 21.84kg (基本セット)
素材: 福井産杉間伐材(構造材) 国産材合板
メラミン化粧板(天板) ターポリン(天幕)

SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) 活用ミニセミナー

~広告予算の限られる中小企業こそ、
上手に活用して集客につなげよう~

受講
無料

多くの中小企業では、広告活動にかかる予算が限られており、費用対効果を意識したマーケティング活動を行う必要があります。こうした場合、有効な手段の一つとなるのがSNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)。

今回は、「興味はあるけど、まだ始めていない」「なんとなく始めたけど、あまり更新できていない」といった中小企業・個人事業主の皆様へ、SNS活用に精通した経営支援の専門家(中小企業診断士)が、SNSの効果的な活用方法を助言します。

ミニセミナー1 SNSビジネス活用術 ~ Instagramを使って効果的にPRしよう~

月間ユーザー数が3,300万人(2019年7月現在)のInstagram。情報収集ツールとして使うユーザーも増えており、ビジネスに活用しない手はありません。本セミナーでは、Instagramの初心者向けに、アカウントの開設方法、効果的な投稿術、ショッピング機能の使い方等を、操作をしながら学んでいただきます。

ミニセミナー2 SNSビジネス活用術 ~ LINEを使って顧客とつながろう~

月間ユーザー数が8,300万人(2019年12月現在)と、SNSの中で一番利用率が高いLINE。

LINEは、公式アカウントとしてビジネスでの利用が可能であり、顧客向けのメッセージ配信、クーポン発行、ショッピングカードなどの機能が充実しており、活用する中小企業が増えています。

本セミナーでは、公式アカウントの開設方法、友だち集め、効果的なメッセージ配信方法などを、操作をしながら学んでいただきます。

ミニセミナー3 Googleビジネス活用術 ~ Googleマイビジネスを使って集客しよう~

検索エンジンといえば、Google! GoogleマイビジネスはGoogle検索やGoogleマップへ店舗情報を表示させるシステム。無料で活用でき、店舗情報登録だけでなく簡単なホームページ作成や情報発信が可能です。本ミニセミナーでは、Googleマイビジネスの登録、情報発信方法、効果の把握方法などを、操作しながら学んでいただきます。

セミナー開催日

令和2年4月13日(月)、4月27日(月)、
5月11日(月)、6月1日(月)
日時
① 9:00~10:30 ② 10:30~12:00
③ 13:00~14:30 ④ 15:00~16:30

坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16
福井県産業情報センタービル 3階
場所



担当講師

ささき たかみ
佐々木 孝美

中小企業診断士

お問い合わせ 総合相談窓口 [無料・事前予約制]

毎週月曜~金曜(休日・祭日を除く) [嶺北] 9:00~17:00 / [嶺南] 9:00~12:00
TEL:0776-67-7425 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <https://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい Q 検索

※上記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。まずはお気軽にご連絡ください。

総合相談窓口では、企業活動を進める際のお悩みに対し、中小企業診断士等の資格をもつ専門家が、センター職員と連携し、皆様と一緒に課題解決に取り組みます。また、「各種補助金の申請」に伴う事業計画の作成等についても、手厚い支援を行っています(相談無料・レポート利用も大歓迎です)。





せいのいかん
忍道蜻蛉館

「忍」を以て「和」を成す。

2020年1月24日、若狭町の熊川宿に福井県内初の忍者道場がオープンしました。1923(大正12)年建築の古民家を改修し、1階に道場を設け、壁をすり抜けることが出来る「どんでん返し」や綱を使って2階から1階に降りる「下がり蜘蛛」の他、落とし穴や隠し扉などが用意されていました。道場では、実際に忍者修業を体験したり忍者の資格も取ったりすることができるそうです。すでに日本人、外国人のお客様に体験してもらっているそうですが、「とても本格的で忍者をリアルに感じた」「日本の文化と一緒に学べた」「子供がとても楽しそうにしていた」といった、体験者からの反響があります。

道場を運営するのは熊川宿在住木彫刻師の新野佑一さんです。木彫刻師の新野さんが忍者に興味を持ったのは同町在住の「最後の忍者」川上仁一さんとの出会いでした。その忍者の知識・技術に触れ、「ここ熊川宿を、来ていただいた人を楽しんでもらえるような、来てよかったと思ってもらえるような場所にしたい」という想いで体験道場の開業を決意したといいます。

熊川宿付近には子供も楽しめる場所が少なかったそうです。今後、同道場が新たなジャンルで熊川宿ににぎわいをもたらし、大人も子供も楽しめる場所になることが期待されています。

活用事業：令和元年度おもてなし産業魅力向上支援事業

話題の

新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.12

ご来店、ご予約
お待ちしております！
LINEもやっています！



LINE



ホームページ

忍道蜻蛉館

三方上中郡若狭町熊川16-36
TEL:0770-68-8007
Web <http://www.seireikan.jp/>
不定休
営業時間:9:00~16:00

ご紹介するのはこちらの講座

募集中

情報セキュリティ入門

～サイバー攻撃対策から
SNS炎上対策まで～

日時：令和2年4月28日(火)
13:00～17:00

会場：福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

受講料：3,960円(税込・テキスト料込)

講師：佐藤 英治 氏

《以前の受講者の声》

- ・セキュリティについての社内の仕組みをしっかりと作る必要があると認識しました
- ・情報不正漏えいの要素・条件が理解できました
- ・社内で実行しなければならないことがわかりやすくて助かりました

—情報セキュリティという一見難しそうな印象ですが、どんな方に聞きに来てほしい講義なのでしょう？

情報セキュリティへの対応については、大企業だけではなく中小企業にも考えていただく必要があります。この講義は何かの資格を取得するためではなく、広く知ってもらいたい入門的な内容をお話するものです。従業員全員が同じ判断基準を持っていることが大切ですので、実際に情報を扱うことの多い社員の方ももちろん、経営者や役員、アルバイトや派遣社員の方まで、企業・組織に関わる全ての人にお聞きいただきたいと思っています。

—情報漏洩で問題になったニュースなどを見ると、他人事ではないと心配されている経営者も多いかと思いますが…どんな対策をすればよいのでしょうか？

やみくもなセキュリティ対策は効果が低くなります。まずは正しく知ることが第一歩です。そのためにこの講義ではいくつかの事例を紹介いたしますが、人的な不正もその一つです。不正は誰でも起こし得るものです。実例を基にして不正発生の

お申し込み
お問い合わせ先

(公財) ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL:0776-67-7411 E-mail:pckouza@fisc.jp
お申込みはホームページ <https://www.fisc.jp/pckouza> から

「IT」教えて先生!

～新人IT研修担当者が聞いてみました～

(公財) ふくい産業支援センターでは県内中小・個人事業者の皆さま向けに、IT研修を開催(年間約80回)しています。これから開催される注目の講座について、新人IT研修担当者が講師にお聞きしました。

企業に関わる全ての方へ
貴社の情報セキュリティを見直しませんか？

教えてくれるのはこの人

まるおかデジタル株式会社 佐藤 英治 氏

情報セキュリティ解説者。ネットワークスペシャリスト。登録情報セキュリティスペシャリスト第5338号。ITコーディネータ。坂井市防災士の会理事。東北大学大学院情報科学研究科修士課程の第2期修了生。情報セキュリティ教育、事業継続計画(BCP)策定、防災図上訓練など、情報セキュリティ及び企業防災への取り組みをわかりやすく伝える。



メカニズムを解説し、職場の環境整備や運用の工夫など、そうさせないための対策を具体的に解説していく予定です。

—情報漏洩の対策以外にも、いろいろと教えてくださいとお聞きしています。最近、注目されているテーマなどはありますか？

はい。会社PCからの情報漏洩だけがセキュリティ対策ではありません。講義の中では、皆さんがお持ちの「スマートフォンを狙った脅威と対策」、また、組織・企業としての「SNSの炎上を防ぐ対策」、「偽情報やなりすまし(フィッシング)対策」といったことについても、それぞれ詳しくお話いたします。どれも現代を生きる私たちにとってご自身もしくは大切な方々を守ることができる情報だと思っています。ぜひ受講をご検討ください。

※本セミナーの様子は受講料を納入された方に限り、講座終了後、ネット動画で提供しますので、後日復習したいと思われる方に最適です。また、講座当日は用事があって参加できないという方も、ぜひ積極的にご活用ください。(閲覧可能期間は2週間程度を予定しています)

情報化人材育成事業
IT研修

令和2年度 各種補助金募集情報

当センターでは、毎年様々な補助事業で県内企業の取り組みを資金面でご支援しています。ここでは、今後募集を予定している事業についていくつかをご紹介します。

【今後募集予定の補助事業（主なもの、3月19日現在）】

※詳細は順次HPなどでお知らせいたします。予告なしに変更になる場合がございます。何卒ご了承ください。

①Uターン移住創業支援事業

県外から福井県内に移住し、本県の地域課題を解決するための社会的事業分野における創業を行う方に対し、その経費の一部を助成します。

申請受付期間 ● 令和2年4月1日(水)～令和2年5月29日(金) 17:00必着

助成対象者 ● ①公募開始日(2020年4月1日) から事業期間完了日(2021年2月末) までに、福井県内で創業し、個人事業の開業届出または会社等[※]の設立登記を行い、その代表者となる者。
※会社等…株式会社、合同会社、合名会社、合資会社もしくは企業組合、協業組合、特定非営利活動法人。
ただし、大企業および「みなし大企業」は対象外とする。

②公募開始日の1年前(2019年4月1日) から事業期間完了日(2021年2月28日) までに、福井県内に住民票を移して居住し、かつ、継続して5年以上居住する意思を有している者。

③福井県に住民票を移す直前に、連続して5年以上、福井県外に在住していたこと。

助成率 ● 2/3以内 助成限度額 ● 200万円 助成対象期間 ● 交付決定日から翌年2月末まで

②学生ベンチャー・チャレンジ応援事業

県内で創業を目指す県内学生等に対して、創業に必要な経費を助成します。

申請受付期間 ● 令和2年4月1日(水)から随時受け付けます

助成対象者 ● 福井県内において創業を目指す県内学生等(在学中もしくは卒業もしくは中途退学されて1年未満の方)
※起業を目指す者、または起業した日から1年を経過していない者 ※助成金を申請する日において、30歳未満である者

助成率 ● 10/10 助成限度額 ● 95万円(1年間) 助成対象期間 ● 最長36か月

※交付決定の日から12か月以内に会社設立等を行わなかった者については13か月以降の経費は助成対象とならない

採択者には
奨励金
(最大240万円)を
福井県より別途支給!

お問合せ先

(公財)ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部
TEL 0776-67-7416 FAX 0776-67-7439
URL <https://www.fisc.jp/> E-Mail ebiz-g@fisc.jp

福井県産業労働部
新産業創出課
TEL 0776-20-0537 FAX 0776-20-0678
E-Mail sinsangyo@pref.fukui.lg.jp

○おもてなし産業魅力向上支援事業

県外からの観光客等の受入れ態勢の改善等について、店舗の改装や設備導入、新商品開発など、観光客向けの新たな取り組みに対し、その費用の一部を助成します。

①店舗・改装、設備導入 ②商品開発

○ふくいの逸品創造ファンド事業

地域資源を活用した商品開発および販路開拓の新たな取り組みについて、その費用の一部を助成します。

○ふるさと企業経営承継円滑化事業

事業承継に向けた事業の改善や企業価値の評価、親族外の第三者への承継、優れた技術を持つ老舗企業の新たな取り組みに伴う費用の一部を助成します。

- ①事業改善型
- ②承継準備型
- ③事業創継・再編統合型
- ④ふくいの老舗逸品承継発展支援

○新分野展開スタートアップ支援事業

新分野展開を行う中小企業者が、既存事業の経営資源を活用して取り組む経営の多角化や事業転換にかかる経費の一部を助成します。

○創業支援事業

創業者が行う地域の需要や雇用を創出する取り組みに対して、起業・創業に必要な経費の一部を助成します。

○小規模事業者支援強化事業

県内の商工会・商工会議所と連携して、県内の小規模事業者が県内外の消費者や企業に向けた販路開拓や生産性向上、人材活用に取り組む経費を助成します。

お問合せ先

(公財)ふくい産業支援センター
販路・資金支援部 資金支援グループ
TEL 0776-67-7406 FAX 0776-67-7419



代表取締役 福島邦栄氏

ブライズ シェフ カードル
bride's chef cadre / ブライダル西陣

顧客の声を拾い、レストランをオープン

結婚式の貸衣装業、式場の紹介業を営む同社が2019年10月13日、令和元年度新分野展開スタートアップ支援事業を活用するなどして、新たにウエディングレストラン「bride's chef cadre (ブライズ シェフ カードル)」を開業しました。「60名から80名ほど入れる規模で且つ、コストを抑えたちょうどいいウエディングレストランが福井県にはないというお客様からの声が多数あり、自分たちで何とかできないかと考えたのがきっかけです」と代表取締役の福島さんは語ります。

元福井銀行高木中央支店だった建物をリノベーションし、外装にはあまり手を加えず当時のままの名残を残しつつ、内装は落ち着いたシャンパンカラーに仕上げ、最大80名まで入れる規模です。

提供する料理は、東京の銀座にお店を構える「レストランエール」が作るフレンチ。福井県出身のシェフが福井県の食材を使い、「分子料理」と呼ばれる科学的に計算された料理で視覚的にも楽しませてくれます。これが食べるのがもったいないくらい美味しいです。

実は料理を提供する「レストランエール」は、2019年7月に公開された映画「東京喰種 トーキョーグール【S】」の料理を監修した実績もあります。同レストランは普段、フレンチレストランとして営業しており、中規模で話題性もあるので、会社でのお祝いの場としても使うことが出来るのではないのでしょうか。

活用事業：令和元年度新分野展開スタートアップ支援事業



bride's chef cadre
福井市高木中央1-2601
TEL:0776-50-6177
営業時間
ランチ 12:00~15:00
ディナー 18:00~22:00
定休日:火・水曜日

話題の
新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.13

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう！

企業情報メール便

販路開拓のチャンス！
本誌にチラシを同封できます



本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎月実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？

●**次回実施号**
VOL.42 5月25日発行予定
チラシ提出締切日：5月19日
チラシ1,700部をご提出
(持参または配送) 願います。

○料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税抜)
A 4判以下のチラシ	6,000円
A 4判超～A 3判以下のチラシ (二つ折にしてA 4判以下のサイズにすること)	9,000円
A 4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

皆様の声を
お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
「▲▲会社がやっている■■■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様の
ご意見をお待ちしております。

令和元年年分 確定申告

期限延長



振替納税を 所得税および復興特別所得税 消費税および地方消費税(個人事業者)
ご利用の方の 令和2年5月15日(金) 令和2年5月19日(火)
口座振替日

お問い合わせ 福井税務署 Tel(0776)23-2690 小浜税務署 Tel(0770)52-1008
敦賀税務署 Tel(0770)22-1010 大野税務署 Tel(0779)66-2180
武生税務署 Tel(0778)22-0890 三国税務署 Tel(0776)81-3211

申告と納税

窓口での相談・申告書の受付は、
令和2年2月17日(月)からです。

所得税および
復興特別所得税・贈与税

令和2年

4月16日(木)まで延長

消費税および
地方消費税(個人事業者)

令和2年

4月16日(木)まで延長

令和元年年分の還付申告は、
令和6年12月31日まで
申告することができます。



編集後記

こんにちは！いつも最後までお読みいただきありがとうございます。1月号ではアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。頂いた貴重なご意見を活かし、読者の皆様の更なる発展に貢献できたらと思っています。さて、今回の特集は「製造業の業務効率化」をテーマに取り上げさせていただきました。当センターの事業をもとに紹介しました。

—自社の課題は分かっているが具体的などう改善したら良いかが分からない。加えて通常の業務に追われて改善まで手が回らない。だから改善が進まない—取材を通してこのことを強く感じました。

その中でも、実際に派遣事業を活用した経営者は、「見ているところが違った」「その手があったか」などの「気づき」があり、実際に業務改善の大きな一歩を踏み出しています。また、他社の現場を見ると、小さなこと一つでも会社によって異なるので、他社を見学するのも「気づき」を得るきっかけにならないでしょうか。

新聞記事から集めた 県内企業の新商品・新規事業

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

■**収集期間**：令和2年1月1日～2月29日
■**収集対象**：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞

【食料品/飲料】

伝統業味「山うに」を製造販売する同社は、常温で長期保存できる新商品を開発し、全国展開を進めている。山うにそのものは賞味期限の問題もあり、県内での販売だったが、賞味期限を半年延ばした商品を開発することで全国展開を可能にした。	越前隊 (河和田地区)
小浜市川崎1丁目の若狭フィッシャーマンズ・ワーフに「牡蠣小屋 蘇洞門倶楽部」が1月11日にオープンした。小浜湾の養殖の殻付き牡蠣を楽しめる。	若狭湾観光株式会社 (小浜市)
茶類製造販売の同社は、若狭東高で栽培された薬用植物コウギクを使ったお茶を商品化、1月16日から販売を始めた。コウギクには血糖値の上昇抑制効果があるとされ、健康食品として売り込む。	大三茶舗 (福井市)
JR福井駅西口で石窯を使った本格ピザなどを提供する同店は1月22日、観光客やビジネスマン向けにスマートフォンアプリを利用した手荷物一時預かりサービスを始めた。スマホアプリと連携したサービスは福井駅周辺ではなく、県内の飲食店でも初。	Vesta (福井市)
食品卸売の同社は、県産食品を使った、ご飯のお供シリーズ「福のせ」を商品化した。北陸新幹線県内延伸を見据え、主に県外客向けの土産やギフトとして開発したもので、1月28日からインターネット通販で販売する。	高岡 (福井市)
福井県内で飲食チェーンを運営する同社は法人向けの弁当事業を始める。社員食堂のない企業に自社製の弁当を毎日配達する。支払いはQRコード決済に限定し、現場映像のライブ配信と組み合わせることで、無人で弁当を販売する仕組みだ。	ぼんた (福井市)
小浜市中名田地区の豊かな自然に感動し、東京から1ターンした太田直哉さん尚世さん夫妻が、週末限定のカフェを同市上田にオープンした。牛乳、卵、小麦粉を使わないワッフルを提供。料理の動画配信にも取り組んでいく。	カフェ シーズンズ (小浜市)
小浜市川崎の水産加工会社である同社が「小鯛ささ漬」の加工技術を活用したトラウトサーモンとサバの二種類のおつまみ「ささ燻」を発売した。「ささ漬」と同じように米酢と塩で味付けし、燻製の香りがする液に漬けて仕上げた。	小浜海産物 (小浜市)

【繊維/衣服】

繊維産元商社の同社は、吸放湿性能に優れた繊維「キュブラ (ベンベルグ)」を生地に使ったパジャマ「DREAMIN (ドリーミン)」を商品化した。自社サイトで販売するほか、ホテルや病院にも売り込んでいく。	明林繊維 (福井市)
眼鏡資材商社の同社は、加工性に優れたイタリア発の新素材「UNI-MAR SHEET (ユニマシート)」の取り扱いを始めた。ゴムのような弾性とプラスチックのような強靭さが特長で、多彩なカラーが揃う。	ユニックス (鯖江市)
合繊維物製造販売の同社が、毛織物大手のニッケ (本社大阪市) のグループ傘下に入ることが2月28日に分かった。同社が持つ欧州などの海外の販路を活用し、新たな顧客を開拓したいと考えて、昨秋から交渉を続けてきたという。	第一織物 (坂井市)

【眼鏡】

同社が手掛けるアイウェアブランド「FACTORY (ファクトリー) 900」の眼鏡「RF-064」が国際的に権威のある賞「iF デザインアワード2020」を受賞した。同社は昨年に続いて二回目の応募で初受賞。	青山眼鏡 (福井市)
---	------------

【その他の製造業】

吉本興業の県内3組の「住みます芸人」5人が、越前焼とコラボしたオリジナルグッズの試作品を完成させた。今後商品として完成させ、4月以降に自分たちのライブ会場で販売を目指す。	越前焼工業協同組合 (越前町)
インテリアや雑貨の独自ブランド「MOHEIM (モヘイム)」を展開している同社は、東京都中央区日本橋横浜町に専門ショップをオープンさせた。築58年の木造2階建ての元倉庫を改造。1階部分にショップ、2階部分にオフィスなどが入っている。	プラスチック (福井市)
医薬品製造販売の同社は1月14日、医療関連事業を展開するオリックス (本社東京) と資本提携すると発表した。1月中をめどにオリックスが小林化工の株式の過半数を取得し、連結子会社化する予定。	小林化工 (あわら市)
新エネルギーとして期待されている水素の利用拡大につなげようと、高速増殖原型炉もんじゅの保守点検や放射線管理などを手掛ける同社が水素輸送に活用できるアンモニアの新たな製造技術の実用化に向けた研究に取り組む。	FTEC (敦賀市)
木製雑貨など製造販売の同社が2月14日まで、初の単独展示販売会「Hacoa Exhibition&Shop 木工とチョコレートの関係」を東京都港区の東京ミッドタウン内のギャラリーで開いた。	Hacoa (鯖江市)
傘製造販売の同社が手掛ける越前洋傘が、東京五輪の公式ライセンス商品「伝統工芸品コレクション」に県内から初めて認定された。眼鏡枠、羽二重、越前漆器といった県産素材や技術が投入され、全工程手づくりで仕上げたこだわりの逸品となっている。	福井洋傘 (福井市)

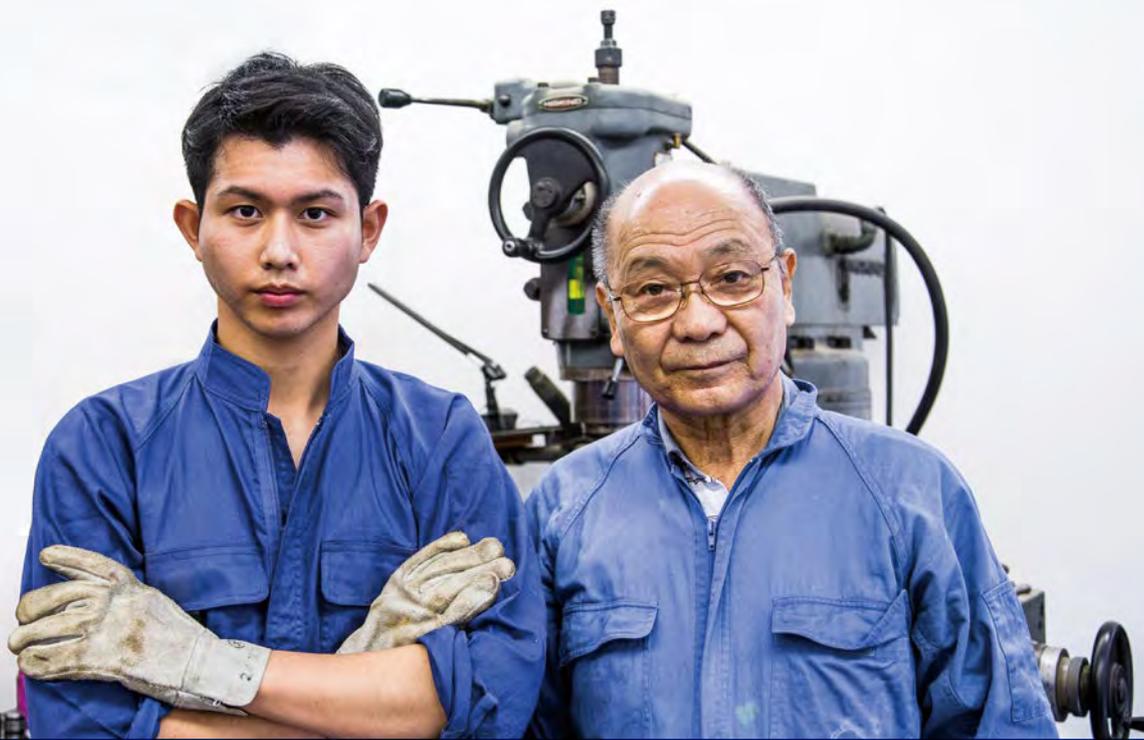
【商業/サービス】

2018年5月に全焼した老舗旅館「べにや」の再建工事が1月14日に始まった。新旅館は「光や風が通る旅館」をテーマに設計され、2021年の4月のオープンを目指す。	べにや (あわら市)
坂井市の三国町旧市街地にある築130年の土蔵をリノベーションしたコミュニティーキッチン「くららぼん」が、本格オープンした。クラウドファンディングで資金を集めてキッチンを整備し、設計に携わった福井大の学生らは、テーブルにも椅子にもなる家具をDIYで作った。	アーバンデザインセンター坂井 (坂井市)
eスポーツ (エレクトロニック・スポーツ) の人材発掘、育成に向け、eスポーツスクール「ESPO LAB (エスポラボ) FUKUI」が2月1日、福井市高柳2丁目にオープンする。建設会社の同社が、eスポーツに注目し、スクール開設を決めた。	力組 (福井市)
コインパーキング管理・運営の同社は2月17日、福井駅東口に立体駐車場を新設すると発表した。2023年春に迫る北陸新幹線の福井延伸前に、不足が予想される駐車場の増設を図る。	日本システムバンク (福井市)
インドからIT (情報技術) の専門人材を呼び込み、人手不足に悩む国内企業に紹介する新しい会社「インプロジャパン」を立ち上げた。1月1日付で有料職業紹介の認可を受けた。2月中をめどに、まずは県内企業向けに本格的な営業を始める。	インプロジャパン (福井市)

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>
総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail: kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

『後継者』どうする？



事業承継のお悩みを解決しませんか？

お悩み解決のために…

まずは
ご相談を

毎日開催
(平日のみ)

完全
予約制

個別相談
個室での相談で
内容の漏えいを
防ぎます

無料
相談は無料です。
お気軽にご相談
ください

秘密厳守
担当する専門員が
秘密厳守で
承ります

詳細はWEBで
ご確認ください。

QRコードから
かんたんアクセス



福井県事業承継

お問い合わせ
ご相談予約は

0776-67-7422

(担当者宛)
受付時間 / 9:00~17:00

秘密厳守

完全予約制で個別にて
相談させていただきます。

後継者が決まっていない

現代表者
(事業を渡す側)

- 後継者がいないし、このままでは廃業も…
良い人材がいれば譲ってもいいのだが。
- 金融機関からの借入が残っているが、
このままで事業承継は可能だろうか？
- 子供に事業を継いでもらいたいが、
継がせて良いかどうか悩んでいる。
- 後継者候補が複数いるが…
誰に決めて良いかわからない。
- 廃業したいが、手続きには何が必要なの？
- 会社(事業)を売却したいが…
いくらくらいの価値なのか、知りたい。

」ご支援の内容」

- ◆ 県事業引継ぎ支援センター等と連携した第三者への引継ぎサポート
- ◆ UI ターン等で、福井で起業したい方とのマッチング
- ◆ 技術の伝承を進めやすくするためのマニュアルやレシピづくりの支援
- ◆ 福井県「後継者全国公募プロジェクト」への参加支援

後継者が決まっている

現代表者
(事業を渡す側)

- 子供に事業を継いでもらいたいが、
継がせて良いかどうか悩んでいる。
- 金融機関からの借入が残っているが、
このままで事業承継は可能だろうか？
- 個人所有の不動産を事業に使用している
が、事業承継は可能なのだろうか？

後継者候補
(事業を引き受ける側)

- 現社長が高齢のになかなか引退してくれない。
なかなか言い出すきっかけもない。
- 先代からの古参社員がいるが、
事業承継後も会社に協力してくれるだろうか？
- 先代時代の借金があるが、金融機関とは
どのように接していけば良いだろうか？

」ご支援の内容」

- ◆ 現社長と後継者候補の方との対話をサポート
- ◆ 事業承継計画書づくりの個別支援
- ◆ 士業など専門家による承継時の課題解決



公益財団法人 ふくい産業支援センター
福井県事業承継ネットワーク事務局

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
【電話】0776-67-7422 【Fax】0776-67-7429
【URL】https://www.fisc.jp/sho_k/
【E-mail】sho_k@fisc.jp